

活用効果評価結果

平成23年度

中国地方整備局 新技術活用評価会議

新技術概要 (申請情報)	開発目標	経済性の向上、周辺環境への影響抑制、リサイクル性向上																																																																	
	新技術登録番号	KT-010009-V					区分			製品																																																									
	分類	河川海岸 - その他																																																																	
	新技術名	ひ門ハウス (樋門・樋管用上屋)																																																																	
	比較する従来技術 (従来工法)	鉄骨造りALC壁上屋																																																																	
新技術の概要 及び特徴	本技術は、樋門・樋管に設置する上屋の構造を、アルミ材と強化ガラスによるパネル組立式としたものである。その活用により、上屋重量の軽量化と工期短縮によるトータルコストの低減が期待できる。																																																																		
活用効果評価	所見	<ul style="list-style-type: none"> ・工場で作成したパネルを現地で組み立てることで、現地での工程の短縮が図られている。 ・現地での品質・出来形管理項目が減少している。 ・アルミ製材料(軽量)のため、取り扱いが容易となり、施工性、安全性が向上している。 ・鉄骨基礎コンクリートの残コンや壁面ALCの切断片等が発生しないため、産業廃棄物の抑制が図られている。 ・本技術の経済性は、従来コストに対して0.8倍程度となっている。 										<p>項目の平均(点)と従来技術(従来工法)(点)の比較</p> <p>—— 新技術</p> <table border="1"> <tr><td>A</td><td>従来技術より極めて優れる</td></tr> <tr><td>B</td><td>従来技術より優れる</td></tr> <tr><td>C</td><td>従来技術と同等</td></tr> <tr><td>D</td><td>従来技術より劣る</td></tr> </table>	A	従来技術より極めて優れる	B	従来技術より優れる	C	従来技術と同等	D	従来技術より劣る																																															
	A	従来技術より極めて優れる																																																																	
B	従来技術より優れる																																																																		
C	従来技術と同等																																																																		
D	従来技術より劣る																																																																		
留意事項	<p>「施工性」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーン進入路の確保及び設置場所について、事前に現場条件を確認する必要がある。 ・ベースプレートの調整代が少ないため、下部躯体のレベル精度に留意する必要がある。 ・クレーンで屋根を設置する際は、強風に対して注意する必要がある。 																																																																		
活用効果調査結果	対象工事	1	排水樋管新設工事	東北地整	(従来技術)	鉄骨造りALC壁上屋	H18	2	災害対策車庫庫新築外2件工事	中部地整	(従来技術)	鉄骨造りALC壁上屋	H20	3	排水機場新設工事	中部地整	(従来技術)	鉄骨造りALC壁上屋	H20	4	樋門応急対策外一連工事	北海道開発局	(従来技術)	鉄骨造りALC壁上屋	H20	5	護岸補修他工事	東北地整	(従来技術)	鉄骨造りALC壁上屋	H20	6	築堤堤防保護外工事	北海道開発局	(従来技術)	鉄骨造りALC壁上屋	H21	7	樋門工事	東北地整	(従来技術)	鉄骨造りALC壁上屋	H20	8	河川維持工事	東北地整	(従来技術)	鉄骨造りALC壁上屋	H21	9	樋管設備据付工事	東北地整	(従来技術)	鉄骨造りALC壁上屋	H18	10	排水樋門新設工事	東北地整	(従来技術)	鉄骨造りALC壁上屋	H18	11	排水樋門新設工事	東北地整	(従来技術)	鉄骨造りALC壁上屋	H18
	ケース番号及び年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11					項目の平均(点)	従来技術(従来工法)(点)																																																	
	施工時評価	項目	H18	H20	H20	H20	H20	H21	H20	H21	H18	H18	H18																																																						
		経済性	C	C	B	B	B	C	A	B	B	B	B					C	C																																																
		工程	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A					A	C																																																
		品質・出来形	B	A	B	B	B	B	A	C	B	B	B					B	C																																																
		安全性	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B					B	C																																																
		施工性	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A					B	C																																																
		環境	B	A	B	B	B	B	C	B	B	B	C					B	C																																																
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					-	-																																																	
	施工時評価点	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B					B	C																																																	
	追跡調査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					-	-																																																	
総合評価点	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B					B	C																																																		
活用効果評価	項目	評価結果										補足																																																							
	成立性	実績5件以上のため技術として成立している										技術における機能、品質、性能などを実験や理論的なもの等での確認・証明の有無		技術として成立している 技術として成立していない																																																					
	優位性	従来技術より優れる										従来技術に対して優れている度合い		A 従来技術より極めて優れる B 従来技術より優れる C 従来技術と同等 D 従来技術より劣る																																																					
	安定性	高い安定性を有す										各評価項目の判定結果による総合評価		高い安定性を有す 安定性に問題がない 安定性が確認されない																																																					
	現場適用性	広い										技術の優位性が高いものの件数の多寡		広い 特に広いとまではいえない																																																					
	区分	従来技術に比べて活用の効果は優れている。 また、活用の条件の違いに対する評価の安定性を有し、多くの現場で良い評価を得ている。 【設計比較対象技術】										-		-																																																					
	追跡調査の必要性	無										-		-																																																					
追跡調査																																																																			